



地元消防団員の指導による消火訓練

“いつか”に備えて

9月1日 総合防災訓練を実施

「防災の日」にあわせて、総合防災訓練を実施。自主防災会などが参加し、大規模災害を想定した訓練などが市内各地区で行われました。

また、葦山南小学校では広域避難所開設訓練を実施。会場では、避難所運営訓練や煙体験のほか、消防署員指導によるAEDを使った救急救命訓練、自衛隊員による搬送訓練、地元消防団による消火訓練などが行われ、防災意識を高める1日となりました。

モンゴル国と交流を深める

8月5～10日 総勢50人の訪問団をモンゴル国へ派遣

平成27年(2015)にモンゴル国ソングノハイルハン区と交わした都市交流に関する覚書に基づき、公式訪問団9人・中学生訪問団20人・柔道スポーツ少年団12人・市民訪問団9人をモンゴル国へ派遣しました。現地では、中学生訪問団が異文化交流・体験を楽しんだり、柔道スポーツ少年団がモンゴル国柔道アカデミーの選手とともに柔道合宿に励んだり、それぞれかけがえのない時間を過ごしました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして準備を進めるため、公式訪問団は、現地の関係者らと親交を深めました。

今回は、その一部をご紹介します。



①ナイルムダル国際チルドレンセンターにて ②モンゴル国柔道アカデミーとの柔道合宿の様子 ③あやとりで交流 ④草原で乗馬体験 ⑤ソングノハイルハン区での会談 ⑥スパートル広場(国会議事堂)にて ⑦パトルガ大統領を訪問 ⑧8月23日開催「モンゴル国柔道競技代表選手の医療に関する救護活動及びサポートに対する協定書締結式」 ⑨8月24日開催「中学生海外研修・柔道スポーツ少年団海外合宿報告会」



人形劇を親子で楽しもう!

8月8日 人形劇「三まいのおふだ・おおきなかぶ」公演

劇団すぎのこによる人形劇、「三まいのおふだ」「おおきなかぶ」をアクシスカつらぎで開催。「三まいのおふだ」は、小僧が栗拾いに行った山で道に迷い、山姥に追いかける昔話で、「おおきなかぶ」は、皆で力を合わせて大きなかぶを抜く物語です。

この日は、200人以上の親子が参加。子どもたちは、劇団員のかげ声に合わせて声を出したり、体を動かしたりしながら、人形劇を楽しみました。



「三まいのおふだ」は舞台の装飾も本格的



式典の様子

追悼の意を表すために

8月15日 戦没者追悼式を開催

アクシスカつらぎ多目的ホールで「伊豆の国市戦没者追悼式」を開催。小野市長や伊豆の国市遺族会の水口一弘会長など、関係者ら196人が参加しました。

会場では、全国戦没者追悼式にあわせ、12時の時報とともに黙とうを捧げる場面も見られました。黙とうを終えると、参加者全員で順に献花を実施。静寂に包まれる中、戦災で亡くなった人たちに追悼の意を表しました。

市内9店舗を構えるコンビニと協定

8月22日(株)セブン-イレブン・ジャパンと包括連携協定を締結

市は、(株)セブン-イレブン・ジャパンと包括連携協定を締結。締結式では、雇用促進、子育て支援、防災・防犯など9つの連携事項を相互に確認しました。

小野市長は、「セブン-イレブンは身近な地域コミュニティの場として必要不可欠。相互に連携・協力していきたい」と話しました。また、本協定には障がい者就労支援事業所「もくせい苑」も協力。同所製作のオリジナルエコバッグを大仁店(御門)で販売中です。



関係者らで協定書を手記念撮影



見学しながら資料を片手に解説(中田さん)

高校生がガイドで活躍

8月25日 葦山反射炉で高校生の外国語ガイドが活躍中!

葦山反射炉で、伊豆の国外国語ガイドの会に所属する高校生の外国語ガイドが活躍中です。

この日は、葦山高校2年の中田明里さんと相馬梨良さんが、外国人・日本人を問わず積極的な活動を実施。2人は、「好きな英語を生かしてコミュニケーションの中で経験を積みたい」「外国人にも葦山反射炉の良いところを知ってもらいたい」と話していました。

高校生によるガイドは、月1回程度行われています。